

公報

○東京府布達甲第二十六號
明治十一年甲第五十四號布達廢止
右布達候事

○東京府布達甲第二十七號
明治十五年八月當廳甲第十六號同十六年二月甲第八號布達自今廢止

○東京府知事芳川顯正代理
東京府大書記官銀林綱男
伊豆七島小笠原島ヲ除
明治十七年七月一日

○東京府知事芳川顯正代理
東京府大書記官銀林綱男
區 役 所
明治十七年七月一日

○東京府知事芳川顯正代理
東京府大書記官銀林綱男
東京府知事芳川顯正代理
東京府大書記官銀林綱男
明治十七年七月一日

敍任

○明治十七年六月三十日
任外務省書記官 判事正七位 小村壽太郎
任農商務省書記官 四等警視兼一等警察使 天野 眞倫
任判事 步兵中尉從七位勳六等 茨川 信

時事新報

中山道鐵道公債證書

我大藏卿ハ本年五月十三日ヲ以テ第五十七號ノ告示ヲ發シ
年七分利付中山道鐵道公債證書ノ内更ニ額面五百萬圓ヲ發
行スルニ付引受方望ミノ者ハ六月十日マデ引受ケント欲
スル證書ノ金高及價額日本銀行又ハ其代理店へ申込ム
ベシト廣告シテリ然レモ近日ニ至リテ引受方申込ノ金額
頗ル多キニ過ル由專ラ風説アル折柄六月廿八日ニ至リ大藏
卿ハ又第八十號ノ告示ヲ發シ最初額面五百萬圓ノ鐵道公債
證書ヲ發行スル旨廣告シ置キテレモ今回更ニ五百萬圓ヲ加
ヘ都合一千萬圓ヲ發行スト廣告シテリ
中山道鐵道公債證書發行總額ハ二千萬圓ナリ此内先ツ五百
萬圓ヲ發行スベシトノ廣告アリシハ本年一月廿三日ノ事ニ
シテ其申込期限二月廿日マデ全國内外人ヨリ申込ノ金額
ハ八百三十七萬六千餘圓ニ達シ募集ノ金額ヲ超過スルヲ實
ニ三百三十七萬六千餘圓ナリシ然レモ我政府ハ此三百三十
七萬六千餘圓ノ額ニ更ニ公債證書ノ發行額ヲ增加スルコ
トヲ爲サズ依然最初廣告ノ五百萬圓ノ額ニ止メテ過利ノ分ヲ
拒絕シ三百萬圓ノ申込人ヲシテ空ク其望ヲ失ヒテ退去セ
シメタリ當時我輩ハ此拒絕策ノ甚ダ妙ナラザルヲ掛念シ只
管鐵道公債證書ノ増發ヲ希望シテ止マザリシニ五月十三日
ニ至リテ我政府ハ更ニ五百萬圓ノ證書ヲ發行スル旨ノ廣告
アリ我輩ハ大藏卿ガ時機ニ投スルノ敏ナルニ敬服シ次回ノ
募集モ前回ノ吉例ニアヤカリテ其申込金額モ亦意外ニ大ナ
ランコト想像シテリ然レモ近日ノ風説ニ依レバ今回申込
金額ノ巨大ナルハ尋常人ノ想像ニモ及バザル所ニテ證書
額面百圓ニ付九十圓ノ定價格コト申込ニテ金額凡ソ一千
萬圓九十圓以上ニ買上ケテ申込ニテ金額凡ソ五百七十萬
圓ニテ募集金額ノ三倍以上ニ達シテリト云ヘリ此風説果

シテ事實ニ相違ナキヤ否ヤ固ヨリ我輩ノ知ル所ニアラズト
雖去月廿八日ニ大藏卿ガ今回ノ發行額五百萬圓ヲ一
千萬圓ニ改メタルヲ見レバ此風説ノ中ラズト雖也違カラザ
ルモノナリシコト知ルニ足レリ何トナレバ廿八日ノ告示ハ
唯今回ノ發行額五百萬圓ヲ一千萬圓ニ改メタルマデノコ
トヲ申込期限等ニ關スル他ノ發行手續ヲ改メタルコトナレバ
ナリ若シ他ノ手續ヲ改メズトスレバ今回ノ募集ニ付引受望
ミノ者ハ去月十六日ヲ限リ申込ムベキモノニシテ此増額
ノ告示世ニ現ハレタル時ハ申込ノ總額既ニ決定シアリテ今
ヨリ又更ニ募集額ヲ爲ス譯ニアラザレバナリ故ニ六月廿八日
ニ發行額ヲ一千萬圓ニ改メタルハ疾ク既ニ少ナクハ一千萬
圓ノ申込アリシコト證書ニ足ルナリ故ニ今回ノ募集ニ一
千萬圓ノ申込アリシハ疑ナク容レズ唯尚ホ疑フベキハ風説ノ
如ク一千萬圓ヲ疾クニ超過シテ一千五百萬圓以上ニモ達シ
居ルヤ否ヤノ一事ナルノ併シナガラ若シ此風説ニシテ事
實ニ相違ナカラシカ我輩ハ又大藏卿ガ今回ノ發行額ヲ一千
萬圓ニ限リ他ノ五百萬圓ノ申込人ヲシテ空ク其望ヲ失
ハシムルコト惜ムナリ七分利付ノ鐵道公債證書ヲ九十圓ニ
賣ラント云フコト所望ノ人ナクハ大違ノ事ナレバ既ニ所望
ノ人アル以上ハ決シテ其申込ヲ拒絕スルコト及バズ目下尙ホ
大藏卿ノ權内ニ在ル一千五百萬圓ノ全額ヲ盡シテ一枚ノ證
書ヲモ殘サズ賣拂ヒテ可ナリ故ニ其内五百萬圓丈今暫
ク發行ヲ見合セテリト別ニ理財上ノ便益ヲ爲スノ理由ハ
ナカルベシ
鐵道ノ國家ノ繁榮ニ必要ナルハ費辦ヲ要セズ鐵道ハ一寸モ
長キヲ要シ鐵道ノ落成ハ一日モ早キヲ要スルハ日下日本ノ
國情ニシテ人々唯此急要ニ應ジテ暇アラザラントスルナリ
東京高崎間ノ鐵道僅カニ二十餘里尙ホ且ツ大ニ日本國ノ繁
榮ヲ増進セントスルノ兆アリテ既ニ其處ニ浴スル者少ナカ
ラス況ヤ東京大坂間ノ鐵道其落成ヲ告ルノ日ニ於テチヤ又
況ヤ東京下ノ關間ノ鐵道落成スルノ日ニ於テチヤ又
コレヲ爲スコト甚ダ難カラズ或ハ其落成後五年ニ期スルヲ得
ベシ或ハ三年ニ期スルヲ得ベシ或ハ二年ニ期スルヲ得ベシ
或ハ一年ニ期スルヲ得ベシコレヲ落成セシムルコト亦甚ダ易ナ
ルベシコレヲ要スルニ唯其費用ノ供給ノ續クト續カザルト
如何ニ在ルノミ若シ資金ノ調達ニサハ差支ナキ以上ハ鐵道
ノ工事ハ即刻ニ辨サベキモノト知ルベキナリ今日日本ノ國情
ハ一寸ノ鐵道モ長キヲ競ヒ一日ノ落成モ早キヲ競ヒ七朱利
付ノ公債證書ヲ九十圓ニテ發行スレバ其募集ニ應ズル者雲
ノ如ク霞ノ如ク我レニ先チ爭ヒテ只管人コト後レザラント
競中スル折柄故ニ證書發行ノ金額ヲ減省セテ鐵道資金ノ
供給ヲ阻シテ隨テ其工事ノ落成ヲ遲延セシムルガ如キコト
ヲ決シテコレヲ策ノ得タルモノト云フコト能ハザルベシ故
ニ我輩ハ切ニ希望ス大藏卿コトテ今回ノ募集額ヲ今五百萬
圓增加シ都合一千五百萬圓ト爲ルニ於テ不都合ナクハコレ
ヲ爲スベシ若不都合アラバ更ニ第三回ノ告示ヲ發シテ殘

電報

○六月二十九日龍動發 佛國は東京の侵略を再びせんとす
るに付目今手強に準備を張る最中あり○埃及會議は既集
會を開いたり

雜報

○大坂 過日の紙上おも記せし如く去月三十日午後第一時
節折同第二時大坂等例の通宮中あ於て行はせられたり○
○御能 來る十三十四の両日間青山御所に於て御能催し
祈り當日之 聖上にも行幸あらせられ皇族并大臣參詣
香間祇候へも御陪覽を仰付らるゝ談お聞く
○御養 皇太后宮は昨今御養盡お御心を寄せさせ給ふ由
あるが青山御所内御養盡所の養盡は殊の外上出来にて兩三
日前より齋を作るお至りたり
○明宮御陪食 皇子明宮は昨日正午十二時淺山竹内、
岡、今井外侍等を御前召させ給ひ臨時御陪食仰付られ
るよし聞く
○松方大藏卿 前號に記載せし松方大藏卿は谷祿官外一
名を隨へ來る五日横濱解職の名護屋丸まで大坂へ赴き造
幣局で執行する金銀貨分析大試験に臨場し尙同府近傍の
縣地を巡視する都合ありと
○學校巡視 森文部省御用掛は本月下旬當地出雲國筋の
諸學校を巡視すと云
○檢閱使 前々號の紙上お三好同號お三浦とせしは誤高
嶋二中將及黒川少將ヲ西、中、東部の檢閱使を命せらるゝ由
記載せしが右の去月廿八日既お其通仰付られたるとなりと
○判士被免 會我陸軍中將之東京鐵道軍法會議判士長を今
井陸軍少將は東京鐵道軍法會議判士を就れも免せらるゝ旨
去月廿七日仰渡されたり
○開拓使事業報告編纂殘務掛 大藏省中舊開拓使會計殘務
整理委員詰所は一昨三十日限閉鎖、更お書配局中開拓使
事業報告編纂殘務掛を置り大藏大書記官鈴木大亮氏外四名
之同日就れも左の通會せられたり
開拓使會計殘務整理委員長大藏大書記官 鈴木 大亮
開拓使會計殘務整理委員長差免候事 鈴木 大亮
開拓使會計殘務整理委員長商務權大書記官 鈴木 大亮
同 大藏少書記官 鈴木 大亮
同 大藏少書記官 鈴木 大亮
同 大藏少書記官 鈴木 大亮
同 大藏少書記官 鈴木 大亮
開拓使事業報告編纂殘務掛取扱申付候事 鈴木 大亮
○疏水掛 今度内務省土木局中に疏水掛を置きたるに付同
省第二應接所を該局中へ圍ひ込み右疏水掛の詰所充て事
務書類等一切 權少書記官始
○警視月俸 同小川政孝
日俸渡されり
○二週年祭 當日青山の墓
勿論銀林東京
する由
○東京府連參 就にて廢止と
選舉心得得事
明治十五年甲
新設及ハ修繕
○昇降時限 來る十一月
定免たり尤大
等の受理は同
○俱樂部總會 部會員諸氏は
會を開いたり
○送別の宴 總官の一行送
日午後六時
にたりと
○入浴 宮内
有馬温泉入浴
○福澤諭吉先 中なりしが一
○ビスマルク 社會黨規則延
るより世人の
りしが其節侯
は如何思はず
る時、此ビス
御座ると述へ
るに足らん
○非社會黨議 會に於て之代
議案急廢棄せ
必なりし由之
に右議案は代
れを一修正
是迄通り此
○佛國禮贈フ 和條約を限定